

静岡市清水区感染症発生動向

2018年 31週 集計期間 7/30-8/4

	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-
RS感染症		2	4		1									7
咽頭結膜熱			1			1				1				3
溶連菌感染症					1				1	2				4
感染性胃腸炎		4	8	4	10	3	7	7	6	5	6	7		67
水痘														
手足口病		1			2		1							4
伝染性紅斑														
突発性発疹		2	1											3
百日咳														
ヘルパンギーナ		5	7	9	4	6	1	1				2		35
流行性耳下腺炎							1			1	1			3
麻疹														
風疹														
マイコプラズマ 髄膜炎 MCLS	1													1
小児科Flu														
小児科定点総数 127 増減 -8 前週比 94.1% 定点当たり 21.2 病院:開業医 7:120 増減 +5:-13														
内科Flu														
インフルエンザ総数 増減 0 前週比 ?% 定点当たり 小児科:内科 0:0 増減 0:0														

総数127、前週の94.1%と、減少です。

首位は、感染性胃腸炎で、前週比97.1%、定点当たり11.1と横ばいです。

2位は、ヘルパンギーナ、前週比67.3%、定点当たり6と、大幅減少です。

3位は、驚きのRSウイルス感染症、前週比233%、定点当たり1.2と、倍増です。

以下は、定点当たり1未満ですが、溶連菌感染症と手足口病が4名ずつ、

咽頭結膜炎、突発性発疹が、流行性耳下腺炎、3名ずつ報告です。

久々に髄膜炎が1名報告、生後1M、無菌性という事です。

8/5、小児科休日当番は、来院数85名、胃腸炎13名、ヘルパンギーナ8名、アデノウイルス性腸炎1名、咽頭結膜熱1名、突発性発疹1名とご報告をいただいています。

ヘルパンギーナは落ち着いて来ましたが、RSに要注意です。